

ふるさと

詩 八木 重吉 (1898-1927)
曲 清水 孝雄

ふるさとをおもえども

柿の実のいろのみ

おもいいだされて

ちちうえもははうえも

あまりにかそけきさぶしさよ



長女桃子と(1924年)
武庫郡御影町(現神戸市東灘区)にて



内藤卯三郎の媒酌による婚約式
登美子16歳/重吉24歳(1922年)

ふるさと

詩：八木 重吉
曲：清水 孝雄

ゆっくり しみじみと

♩=60

T-1.2 *p* Ah Ah Ah Ah Ah

B-1.2 *mp* ふる - さとを おも - え - ど かきのみの

4 Ah Ah Ah

いろのみ おもい いだされて ちちうえ - も

7 Ah Ah

ははうえ - も — あまりにかそけき さぶしさよ

10 *mp*

ふる - さとを おも - え - ど かきのみの

13

8

いろいろの み おもい いたされて ちちう え - も

16

8

ははう え - も ぁまりに かそけき さぶしさよ

Woo

19

8

pp *solo mp*

ふ — るさと を おもえ ど かきのみ

Woo Woo

pp

22

8

の かきのみ の *tutti* Woo Woo

pp *pp*